

事例番号:380013

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第六部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

糖尿病合併妊娠

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 6 日 陣痛発来主訴のため入院

4) 分娩経過

妊娠 40 週 0 日

9:00 陣痛発来

妊娠 40 週 1 日

1:38 頃- 胎児心拍数陣痛図で軽度変動一過性徐脈を認める

2:20 頃- 胎児心拍数陣痛図で反復する高度遅発一過性徐脈を認める

2:50 頃- 胎児心拍数陣痛図で高度遷延一過性徐脈を認める

3:23 頃- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動減少、反復する高度遅発一過性徐脈、軽度遷延一過性徐脈を認め

3:56 徐脈頻発するため子宮底圧迫法により経膈分娩

胎児付属物所見 臍帯巻絡あり(下肢 2 回)

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:40 週 1 日

(2) 出生時体重:3000g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.73、BE -24.3mmol/L

(4) アpgar スコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 5 点

- (5) 新生児蘇生：人工呼吸（バググ・マスク、チューブ・バググ）、気管挿管
- (6) 診断等：
出生当日 新生児仮死
- (7) 頭部画像所見：
生後 4 日 頭部 MRI で大脳半球に広汎に信号異常、大脳基底核・視床にも明らかな信号異常を認め、低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

<当該分娩機関>

- (1) 施設区分：病院
- (2) 関わった医療スタッフの数
医師：産科医 1 名、小児科医 1 名
看護スタッフ：助産師 7 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた胎児低酸素・酸血症により低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考ええる。
- (2) 胎児低酸素・酸血症の原因は、臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性が高い。
- (3) 胎児は、妊娠 40 週 1 日の分娩第 1 期の後半より低酸素の状態となり、その状態が出生時まで進行し低酸素・酸血症に至ったと考ええる。

3. 臨床経過に関する医学的評価（2020 年 4 月改定の表現を使用）

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 39 週 6 日入院時の対応（内診、バイタルサイン測定、血糖測定、分娩監視装置装着）は一般的である。
- (2) 入院後、子宮収縮が不規則で分娩の進行を認めないため、一度帰宅することを提案し、本人希望により入院を継続したことは一般的である。
- (3) 糖尿病合併妊娠のため、分娩管理に際して血糖管理を代謝・内分泌内科に

診察を依頼したことは一般的である。

- (4) 糖尿病合併妊娠に対して、妊娠 40 週 0 日の陣痛発来後、10 時 52 分から 16 時 21 分、16 時 57 分から 22 時 24 分、23 時 29 分から妊娠 40 週 1 日 1 時 38 分に分娩監視装置を中断したことは基準を満たしていない。
- (5) 妊娠 40 週 1 日 1 時 38 分頃から 2 時 20 分頃までの基線細変動中等度、軽度変動一過性徐脈への看護スタッフの対応(医師に報告、酸素投与)は一般的である。
- (6) 妊娠 40 週 1 日 2 時 20 分頃から反復する高度遅発一過性徐脈が持続し、2 時 50 分頃以降に胎児心拍数波形レベル 4 を認める状況で、急速遂娩の準備を決定せずに経過観察したこと、および 3 時 23 分以降に急速遂娩を実行せずに経過観察としたことは、いずれも一般的ではない。
- (7) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (8) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2023」を再度確認し、胎児心拍数波形レベル分類に沿った対応と処置を習熟し実施することが勧められる。
- (2) 「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2023」CQ410 を再度確認し、糖尿病合併妊娠の分娩の際は、分娩監視装置による連続モニタリングを行うことが勧められる。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

- (1) 学会・職能団体に対して
なし。
- (2) 国・地方自治体に対して
なし。